

## アジア政経学会 2012年度第4回理事会 議事録

1. 日時 2012年9月1日(土) 15:00~17:00
2. 会場 慶應義塾大学(三田キャンパス)  
大学院棟8階 東アジア研究所共同研究室1
3. 理事総数 24名
4. 出席者 13名(大橋、金子、巖、澤田、清水、高原、竹中、谷垣、田村、永井、平岩、三重野、山本)
5. 委任状提出 9名(梶谷、小嶋、駒形、佐藤、園田、高橋、滝口、唐、松田)
6. 出席者合計 22名
7. 議長 金子理事長
8. 議事

(ア) 定刻15時に金子理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・山本理事より本日の出席者が22名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として竹中千春氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 前回(2012年7月14日)理事会議事録の確認を行った。

### 議案1. 公益法人移行について

担当の高橋理事欠席のため、金子理事長が高橋理事からのメール内容を代読するかたちで報告された。まず、内閣府への電子申請について、金子理事長・高橋理事・山本理事(総務担当)・澤田理事(財務担当)、及び税理士法人による最終確認後、内閣府へ書類を提出し、即日高橋理事へ受理通知が届いた旨が説明された。次に、今秋のヒアリングを経て、来年4月初旬に認可される予定である旨が説明された。以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

### 議案2. 全国大会について

担当の丸川理事欠席のため、金子理事長が丸川理事からのメール内容を代読するかたちで報告された。特に、全体的なプログラム構成および関連事項について、下記の諸点を中心に論議され調整が図られた。下記の諸点はいずれも審議の結果、了承された。

#### (1) 時間配分

- ・各セッション間にインターバルを設け、参加者の移動時間を確保する。
- ・各セッションの時間枠を維持しつつ、かつ全体の終了時間を延長しないための調整を行う。

- ・各セッションの集客数を一定数以上確保するための調整を行う。

#### (2) 開催費用

- ・原則として、報告者招聘に係る費用は予算編成段階で盛り込む。
- ・ただし、今回は特例として、海外からの報告者招聘に係る費用を開催費用とは別枠で補填することを認める。

#### (3) 非会員向け広報活動

- ・関連学会に対してホームページやメーリングリスト等を通じた広報を依頼し、広く非会員にも事前申込による参加を促す。
- ・開催校や報告者の関係者（非会員）の参加を従来通り奨励する。

### 議案 3. 全国大会時の国際シンポジウムについて

谷垣理事より、国際シンポジウムの企画案が提示され、その概要と予算について報告された。まず概要として、報告者・司会者・討論者の陣容、およびシンポジウムのコンセプトについて説明された。次に予算として、報告者の交通費・宿泊代・謝金、および同時通訳等に係る費用の内訳について説明された。以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

### 議案 4. 『アジア研究』の編集状況について

担当の園田理事欠席のため、三重野理事（書評委員）が園田理事から予め提出された資料に基づき、雑誌編集の進捗状況について補足説明を行った。特に、第58巻第1・2号については、9月上旬の入稿を予定しており、現在は原稿様式の調整中であることが説明され、審議の結果、了承された。

### 議案 5. ニュースレターの編集状況について

担当の小嶋理事欠席のため、山本理事が小嶋理事からのメール内容を代読するかたちで報告された。ニュースレターNo. 38は既に納品済みであり、全国大会予告が間に合うように会員へ送付する旨が説明され、審議の結果、了承された。

### 議案 6. ホームページの更新について

田村理事より、英語版ホームページの開設、および『アジア研究』データベースのHTML移行に関する請負業者との打ち合わせ内容について報告された。まず、英語版ホームページの開設については、日本語版ホームページと同様の様式とし、データ更新を行ったうえで英文に翻訳すること、これらの作業を来春までに完了させる予定であることが説明された。次に、データベースのHTML移行については、直近のデータから遡るかたちで漸次PDFをHTMLへと移行させる予定であることが説明された。以上の報告と説明は、いずれも審議の結果、了承された。

議案7. 定例研究会について

担当の丸川理事欠席のため、金子理事長より9月1日(土)の定例研究会は休会となったこと、次回は12月1日(土)に開催予定であることが報告され、承認された。

議案8. 入・退会について

山本理事より、入会申請者8名、復会申請者なし、再入会申請者1名、退会者6名、逝去なし、休会者2名、会費優待申請2件の報告が行われた。

<入会者>CHEA POLENG (チア ポーレン)、

居来提 熱依木 (ジュライティ レイム)、伊藤信悟、田中剛、  
西川直孝、佐々木俊介、河村しのぶ、吉見崇

<復会者>なし

<再入会者>荒木徹也

<退会者>小田敏花、姜海月、萬行英二、広野達、田辺輝行、小島秀樹

<逝去>なし

<休会者>李賢珠、堀内弘司

また、大会における報告希望者の入会申請時期について見直しが行われ、報告を希望する大会と同日開催の理事会時には申請書類が揃っており、承認を受けることが望ましいこと、やむを得ない理由により承認が間に合わない場合は、「手続き中」として認めることが確認された。

その他.

竹中副理事長より、7月7日(土)に開催されたドイツ・アジア学会との国際ワークショップ“A Quest for Asian Studies of the 21<sup>st</sup> century”の会計報告がなされ、予算より約10万円の黒字であったことが報告された。

次回理事会は、10月13日(土)関西学院大学にて開催予定。

以 上

金子理事長が17時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の議決を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成24年9月1日

特例財団法人アジア政経学会

議長

金子芳樹



議事録署名人

竹中千春



議事録署名人

小寺信人

